

録音をご検討されている方へ ホール内の換気について

当館では新型コロナウイルス感染予防対策として3つの密を避けるために換気の徹底に努めております。

そのため、録音でのご利用の際もお客様には換気をして頂きます。

換気には、①機械換気と②自然換気がございます。

かなつくホールでは通常時は機械換気をしております。

録音でのご利用の際、換気の声が気になる方は自然換気をご検討下さい。

	機械換気	自然換気
換気の頻度	常時換気。	30分に1回。
換気の方法	機械による自動換気。 扉は閉めたまま。	5分間、客席の全ての扉を開けて換気。 (お客様ご自身で開閉をお願いします)
その他	機械の作動音あり。	

「横浜市文化施設における 新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に基づき、換気を実施しております。以下、ガイドラインから抜粋です。

【①機械換気による場合】

- ・ビル管理法における特定建築物に該当する施設については、ビル管理法に基づく空気環境の調整に関する基準が満たされていることを確認し、満たされていない場合、換気設備の清掃、整備等の維持管理を適切に行う。
- ・特定建築物に該当しない施設においても、ビル管理法の考え方に基づく必要換気量（一人あたり毎時 30 m³）が確保できていることを確認すること。

【②自然換気による場合】

- ・換気回数（部屋の空気がすべて外気と入れ替わる回数）を毎時2回以上（30分に一回以上、数分間程度、窓を全開する。）とする。
- ・空気の流れを作るため、複数の窓がある場合、二方向の壁の窓を開放すること。窓が一つしかない場合は、ドアを開けること。